



2019年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月14日

上場会社名 株式会社シンシア
 コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

定時株主総会開催予定日 2020年3月30日

配当支払開始予定日

2020年3月31日

有価証券報告書提出予定日 2020年3月31日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期の連結業績(2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	4,368	4.4	143		152	478.2	76	381.6
2018年12月期	4,182	3.7	12	95.2	26	92.2	15	92.8

(注) 包括利益 2019年12月期 72百万円 (624.6%) 2018年12月期 9百万円 (95.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年12月期	12.29	12.15	4.1	5.5	3.3
2018年12月期	2.37	2.33	0.8	0.9	0.3

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	2,881	1,887	65.5	304.08
2018年12月期	2,656	1,828	68.8	294.47

(参考) 自己資本 2019年12月期 1,887百万円 2018年12月期 1,828百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	185	69	57	1,048
2018年12月期	36	371	249	992

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年12月期		0.00		2.00	2.00	12	78.4	0.7
2019年12月期		0.00		4.00	4.00	24	32.6	1.3
2020年12月期(予想)		0.00		4.00	4.00		28.4	

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,756	8.9	138	3.8	136	10.3	87	14.7	14.10

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期	6,862,200 株	2018年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2019年12月期	654,140 株	2018年12月期	654,100 株
期中平均株式数	2019年12月期	6,208,069 株	2018年12月期	6,682,461 株

(参考) 個別業績の概要

2019年12月期の個別業績(2019年1月1日～2019年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	4,145	6.3	150	651.1	131	195.0	60	43.7
2018年12月期	3,899	3.7	20	91.5	44	85.8	42	78.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	9.79	9.68
2018年12月期	6.33	6.22

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年12月期	2,750		1,839		66.9		296.27	
2018年12月期	2,569		1,794		69.8		288.98	

(参考) 自己資本 2019年12月期 1,839百万円 2018年12月期 1,794百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや企業収益が底堅く推移するなど緩やかな回復基調で推移しております。一方、世界情勢は、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動による影響などが懸念されており、依然として不透明な状況が続いております。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや近視人口の急激な増加・若年化が進んでいること、また、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測しております。しかしながら、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進活動が激化しており、当社を取り巻く競争環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況の中での当社グループの状況は、競合メーカーとの価格競争が激化していることなどにより、当社カラーコンタクトレンズの販売が計画通りに進みませんでした。一方、2019年2月に販売を開始したシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」は、概ね期初の想定どおりに推移いたしました。

この結果、売上高は4,368,728千円（前連結会計年度比4.4%増）となり、営業利益143,872千円（同1014.1%増）、経常利益152,241千円（同478.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益76,313千円（同381.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の財政状態は次のとおりであります。

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ225,406千円増加し、2,881,701千円となりました。主な要因は、商品が86,604千円、受取手形及び売掛金が81,205千円、外国為替差入証拠金が76,736千円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ166,383千円増加し、993,975千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が104,981千円、未払法人税等が71,953千円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ59,023千円増加し、1,887,726千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上及び剰余金の配当により利益剰余金が63,896千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ56,155千円増加し、1,048,927千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主にたな卸資産の増加額105,769千円及び売上債権の増加額79,654千円の計上があったものの、仕入債務の増加額104,309千円、税金等調整前当期純利益152,869千円及び預り保証金の増加額50,000千円の計上により、185,720千円の増加（前連結会計年度は36,694千円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に外国為替差入証拠金76,736千円の増加により、69,376千円の減少（前連結会計年度は371,210千円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出45,000千円及び配当金の支払額12,295千円の計上により、57,320千円の減少（前連結会計年度は249,326千円の減少）となりました。

(4) 今後の見通し

2020年12月期においては、コンタクトレンズ市場では一般的な商流でありながら、当社グループの弱みとなっていた眼科併設店及びコンタクトレンズ量販店チャンネル向けに、新素材シリコーンハイドロゲルを使用した新商品「SINCERE 1DAY S」(2019年2月22日発売)に続く新商品を投入することで、自社ブランド商品売上の底上げを目指します。

「SINCERE 1DAY S」の2019年12月期の売上高は315,764千円であり、2020年12月期につきましては、前期比45.2%増の458,610千円を目指します。

また、当社が従前から注力しているドラッグストアチャンネル向け自社ブランドクリアレンズ「1day Eye Well」については、2019年12月期においては売上高121,523千円と拡大傾向で推移しており2020年12月期においては前期比4.7%増の127,290千円を目指します。一方で、ドラッグストアでコンタクトレンズを購入できることの認知度を向上させる余地が大きいと考えていることから積極的な販売促進活動に注力して参ります。

2020年12月期は、「新商品の投入により自社ブランド商品の売上高拡大」、「ドラッグストア向け商品の認知度の向上」及び「当社及び当社商品の知名度向上により顧客層を拡大させる」の3点を重点施策とし、積極的な広告宣伝活動及び販売促進活動に注力し売上高拡大を図って参ります。また、本社の定期建物賃貸借契約が2021年3月末で満了を迎えることから、2020年12月期中の本社移転を予定しており、その移転に係る費用を20,000千円見込んでおります。以上のことから販売費及び一般管理費は1,244,035千円(当連結会計年度比6.1%増)と想定しております。

上記をふまえ、現時点における2020年12月期の見通しにつきましては、売上高4,756,163千円(当連結会計年度比8.9%増)、営業利益138,407千円(同3.8%減)、経常利益136,591千円(同10.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益87,525千円(同14.7%増)を見込んでおります。

なお、想定年間平均為替レートについては、2019年12月期並みである110.0円/USDと設定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間比較可能性を確保するため、日本基準にて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	992,771	1,048,927
受取手形及び売掛金	622,553	703,759
商品	607,246	693,850
貯蔵品	96,077	114,868
前渡金	13,029	1,090
未収還付法人税等	46,879	—
デリバティブ債権	46,471	34,246
外国為替差入証拠金	126,944	203,680
その他	46,939	59,495
貸倒引当金	△43,267	△46,198
流動資産合計	2,555,646	2,813,720
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,121	18,133
減価償却累計額	△10,827	△11,814
建物(純額)	7,293	6,318
工具、器具及び備品	44,712	49,632
減価償却累計額	△35,689	△38,607
工具、器具及び備品(純額)	9,023	11,024
有形固定資産合計	16,316	17,343
無形固定資産		
のれん	1,231	—
その他	13,369	9,753
無形固定資産合計	14,601	9,753
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	10,302	13,781
その他	59,428	28,406
貸倒引当金	—	△1,303
投資その他の資産合計	69,730	40,884
固定資産合計	100,648	67,981
資産合計	2,656,295	2,881,701

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,485	252,466
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	—	60,000
未払法人税等	625	72,578
デリバティブ債務	17,340	—
賞与引当金	6,640	9,240
その他	155,500	154,689
流動負債合計	827,592	748,975
固定負債		
長期借入金	—	195,000
長期預り保証金	—	50,000
固定負債合計	—	245,000
負債合計	827,592	993,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	353,422	353,422
利益剰余金	1,583,710	1,647,607
自己株式	△411,636	△411,662
株主資本合計	1,798,918	1,862,790
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	26,858	23,760
為替換算調整勘定	2,297	1,174
その他の包括利益累計額合計	29,156	24,935
新株予約権	628	—
純資産合計	1,828,702	1,887,726
負債純資産合計	2,656,295	2,881,701

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	4,182,972	4,368,728
売上原価	2,952,341	3,052,709
売上総利益	1,230,631	1,316,018
販売費及び一般管理費	1,217,718	1,172,146
営業利益	12,913	143,872
営業外収益		
受取利息	1,062	522
デリバティブ評価益	40,767	9,581
業務受託料	20,000	—
受取補償金	—	4,352
その他	2,185	6,586
営業外収益合計	64,015	21,043
営業外費用		
支払利息	8,769	5,304
為替差損	31,056	4,080
貸倒引当金繰入額	8,245	2,407
その他	2,528	881
営業外費用合計	50,600	12,674
経常利益	26,328	152,241
特別利益		
新株予約権戻入益	—	628
特別利益合計	—	628
特別損失		
関係会社株式評価損	1,638	—
固定資産除却損	6,629	—
特別損失合計	8,267	—
税金等調整前当期純利益	18,060	152,869
法人税、住民税及び事業税	13,599	78,667
過年度法人税等戻入額	△14,895	—
法人税等調整額	3,510	△2,111
法人税等合計	2,214	76,555
当期純利益	15,846	76,313
親会社株主に帰属する当期純利益	15,846	76,313

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
当期純利益	15,846	76,313
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△4,278	△3,098
為替換算調整勘定	△1,618	△1,122
その他の包括利益合計	△5,897	△4,220
包括利益	9,949	72,092
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,949	72,092
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	374,674	1,650,210	—	2,298,307
当期変動額					
剰余金の配当			△82,346		△82,346
親会社株主に帰属する 当期純利益			15,846		15,846
自己株式の取得				△440,553	△440,553
自己株式の処分		△21,251		28,917	7,665
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△21,251	△66,500	△411,636	△499,388
当期末残高	273,422	353,422	1,583,710	△411,636	1,798,918

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	31,137	3,916	35,053	—	2,333,360
当期変動額					
剰余金の配当					△82,346
親会社株主に帰属する 当期純利益					15,846
自己株式の取得					△440,553
自己株式の処分					7,665
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4,278	△1,618	△5,897	628	△5,269
当期変動額合計	△4,278	△1,618	△5,897	628	△504,657
当期末残高	26,858	2,297	29,156	628	1,828,702

当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	273,422	353,422	1,583,710	△411,636	1,798,918
当期変動額					
剰余金の配当			△12,416		△12,416
親会社株主に帰属する 当期純利益			76,313		76,313
自己株式の取得				△25	△25
自己株式の処分		—		—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	63,896	△25	63,871
当期末残高	273,422	353,422	1,647,607	△411,662	1,862,790

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	26,858	2,297	29,156	628	1,828,702
当期変動額					
剰余金の配当					△12,416
親会社株主に帰属する 当期純利益					76,313
自己株式の取得					△25
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,098	△1,122	△4,220	△628	△4,848
当期変動額合計	△3,098	△1,122	△4,220	△628	59,023
当期末残高	23,760	1,174	24,935	—	1,887,726

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	18,060	152,869
減価償却費	8,461	8,927
のれん償却額	1,231	1,231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,544	3,996
賞与引当金の増減額(△は減少)	540	2,600
受取利息及び受取配当金	△1,062	△523
支払利息	8,769	5,304
為替差損益(△は益)	35,675	7,472
デリバティブ評価損益(△は益)	△40,767	△9,581
破産更生債権等の増減額(△は増加)	1,371	△1,303
新株予約権戻入益	—	△628
固定資産除却損	6,629	—
関係会社株式評価損	1,638	—
売上債権の増減額(△は増加)	△28,542	△79,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	111,262	△105,769
前渡金の増減額(△は増加)	△3,713	11,939
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,241	104,309
前受金の増減額(△は減少)	△28,093	△8,913
預り保証金の増減額(△は減少)	—	50,000
その他の資産の増減額(△は増加)	34,656	△2,688
その他の負債の増減額(△は減少)	△16,478	16,216
その他	185	169
小計	116,127	155,974
利息及び配当金の受取額	771	428
利息の支払額	△8,968	△5,036
法人税等の支払額	△159,520	△12,528
法人税等の還付額	14,895	46,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,694	185,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,922	△6,601
無形固定資産の取得による支出	△6,424	△2,689
デリバティブ取引による支出	△49,920	△13,822
デリバティブ取引による収入	16,217	8,407
貸付けによる支出	△4,000	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△6,999	△2,195
敷金及び保証金の回収による収入	68,036	34,270
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	358,223	△76,736
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	371,210	△69,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△16,650	△45,000
自己株式の取得による支出	△440,553	△25
自己株式の処分による収入	7,665	—
配当金の支払額	△81,856	△12,295
新株予約権の発行による収入	628	—
上場関連費用の支出	△18,559	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,326	△57,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△2,867
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,220	56,155
現金及び現金同等物の期首残高	907,550	992,771
現金及び現金同等物の期末残高	992,771	1,048,927

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」6,692千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」10,302千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、コンタクトレンズ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	294.47円	304.08円
1株当たり当期純利益金額	2.37円	12.29円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	2.33円	12.15円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	15,846	76,313
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	15,846	76,313
期中平均株式数(株)	6,682,461	6,208,069
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	114,385	72,172
(うち新株予約権(株))	(114,385)	(72,172)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。